

ランネート™ 45 DF

園芸用殺虫剤

- キャベツをはじめ、30種以上の多彩な作物に登録。
- アブラムシ類、チョウ目、アザミウマ類、ナメクジ類、カメムシ類など、幅広い害虫にシャープな効き目。
- 卵から成虫まで、生育ステージを問わず効果を発揮。
- 浸達性に優れるため、葉裏に潜む害虫にも有効。
- コナガの成虫をしっかり叩く。



「害虫の多い畑をリセットしたい。」
その気持ちに、ランネート。

適用害虫と使用方法

2019年9月現在

正しい使用方法を守って
農薬は安全に使えます。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メソミルを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	ワタアブラムシ	1000倍	100~300 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
いちご	イチゴメセンチュウ イチゴセンチュウ			育苗期	4回以内		
	イチゴゴサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	1~2ℓ/m ² 2~3ℓ/m ²	定植後生育初期 移植活着後(育苗期)	3回以内		3回以内	
ピーマン(露地栽培)	タバコガ ハスモンヨトウ	1000~2000倍	100~300 ℓ/10a		収穫開始14日前まで		3回以内
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 タマナギンウワバ			収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
はくさい	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	2回以内	3回以内	3回以内			3回以内
こまつな	アブラムシ類	1000倍			収穫14日前まで	2回以内	
かぶ	アオムシ アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類	1000~2000倍	100~300 ℓ/10a			収穫21日前まで	2回以内
サラダ菜	オオタバコガ ナメクジ類	1000倍		1000倍	2回以内	2回以内	
カリフラワー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで				4回以内
ブロッコリー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000~2000倍	1000~2000倍	1000倍	1000倍	4回以内	
ほうれんそう	ヨトウムシ ミナミキイロアザミウマ	1000倍					収穫14日前まで
ねぎ	シロイチモジヨトウ クロバネキノコバエ類	1000倍	収穫7日前まで	5回以内	5回以内		
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~2000倍	1000倍			2回以内	2回以内
しょうが	ハスモンヨトウ			収穫21日前まで	5回以内		
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1000倍	収穫7日前まで	4回以内		4回以内	
ばれいしょ	ジャガイモガ ナストビハムシ ニジュウヤホシテントウ アブラムシ類	1000倍	収穫14日前まで		3回以内		3回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	1000~2000倍	収穫7日前まで	2回以内 (は種前の土壌混和は1回以内)		2回以内	
だいず	ハスモンヨトウ シロイチモジマダラメイガ マメシクイガ カメムシ類 ツメクサガ	1000~2000倍	収穫7日前まで		1回		1回
えだまめ	ヨトウムシ トビハムシ	1000倍	収穫30日前まで	2回以内		2回以内	
てんさい	ヨトウムシ トビハムシ	1000倍	収穫30日前まで		2回以内		2回以内
にんじん	ハスモンヨトウ アブラムシ類 クロバネキノコバエ類	2000倍	200~400 ℓ/10a	摘採21日前まで		2回以内	
パセリ	アブラムシ類	1000倍	1000~1500倍	1000倍	2回以内		
茶	ハスモンヨトウ チャトゲコナジラミ	1000倍				1000~2000倍	1000倍
	ココクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ミドリヒメヨコバイ	1000~1500倍	1000~2000倍	1000倍	2回以内		
食用ゆり	クロバネキノコバエ類	500倍				—	植付前
セルリー	ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類	1000倍	100~300 ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
アスパラガス	ネギアザミウマ			収穫前日まで	1回		
	ナメクジ類	1~3ℓ/m ²	収穫3日前まで	2回以内		2回以内	
にら	ネギアザミウマ クロバネキノコバエ類	1000倍	1ℓ/m ²		収穫21日前まで		2回以内
らっきょう	ネダニ類			100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	
ごぼう	アブラムシ類	1000~2000倍	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内		散布
チンゲンサイ	アブラムシ類			収穫14日前まで			
たばこ	タバコガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000~2000倍	25~180 ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内

ランネット安全使用4つの基本

- ①施設(ハウス)内での散布は絶対にしない。
- ②性能の良い農薬用マスクを必ず着用。
- ③保管・管理を厳重に行う。
- ④適用以外の使用は絶対に行わない。

注意事項

●はくさいに使用する場合、定植後20日以内では薬害のおそれがあるので使用しない。●ジャガイモガに対しては潜葉幼虫を対象に使用する。●イチゴゴサレセンチュウの防除には、苗の移植活着後(育苗期)に7~10日間隔で2~3回ジョロ等で灌注する。●ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合、初発生時に直ちに、かけ残しのないようにいねいに散布する。●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布する。(効果) ●石灰硫黄合剤、ボルドー液などアルカリ性薬剤との混用はさける。●初めて使用する場合は、病害虫防除所等の関係機関の指導を受ける。●露地栽培のアスパラガスに対して散布と灌注を併用する場合、1週間以上間隔をあける。



安全使用上の注意事項

●医薬用外劇物なので取り扱いには十分注意する。●散布液調製時及び使用の際は、防護マスク、保護メガネ、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。●本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。●胸の高さ以下の作物に対して下に向けて散布する。作物が胸の高さを超える場合は絶対に散布しない。特にたばこでは、草丈が腰の高さの時までに散布する。●施設内での灌注処理は、出入り口、天窓、側窓等を開け、適宜、通気を確認して作業を行う。●灌注処理にはハス口状ノズルを使用し、ハス口状ノズルを腰より下にして地面に向けて灌注する。●被覆中の茶園や施設内など、噴霧のこもりやすい場所での散布は行わない。●高温多湿時の長時間作業および疲労時の使用はさける。●蚕に対して影響があるので、周辺の蚕葉にはかからないようにする。●ミツバチに対して影響があるので、巣箱およびその周辺にかからないよう注意する。

殺虫剤分類 1A

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項: 薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、ランネット45DFまたは他のグループ1A殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通して適応されるすべての「グループ1A使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト
(http://www.irac-online.org)

ご使用にあたっては製品ラベルをよく読み、適切にお使いください。

●使用前にラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
※使用後の空容器、空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水は圃場等でタンクに入れてください。

ランネット普及会
クミアイ化学工業株式会社
ダウ・アグロサイエンス日本株式会社
デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
日本農薬株式会社
北興化学工業株式会社
三井化学アグロ株式会社

五十音順

事務局 デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社
〒100-6110 東京都千代田区永田町2-11-1

本資料は2019年9月現在の知見に基づき、作成されています。